

## その六



嶺村 法子

幼稚園の三学期、子どもたちは今までの経験を総動員して遊びを展開し、いろいろな形で力を発揮し、充実感を味わっています。私たちの幼稚園では、表現活動の総まとめとも言うべき「子ども会」をこの時期に行います。それぞれの学年に合った歌と合奏（楽器遊び）、劇（表現遊び）を保護者の方に見ていただき、全員の歌で締めくくります。

今年の年長組は、『ヘンゼルとグレーテル』を下敷きに、子どもたちと一緒に『お菓子の好きなうみ組探検隊』という劇を作りました。

春の遠足から、ずっと手紙のやりとりをしてきた魔女とカラス、展覧会の時みんなで力を合わせて作り上げたお菓子の家、運動会で演じた忍者、大好きなミニハムズ、憧れの妖精、そして元気いっぱいのおみ組の子どもたち。それらすべてが登場できるような場面をつなぎ合わせ、オペレッタ『おしゃべりなたまごやき』のメロディに乗せて替え歌を考え、オペレッタ風『お菓子の好きなうみ組探検隊』ができました。

とはいえ、役柄も役回りのやりとりも毎日変わり、三十分も四十分もかかってやつと探検隊がお菓子の家にたどり着くということもしばしばでした。いったいどうなることかと思いつつ迎えた当日、『魔女が一人じゃかわいそう』と風邪で休んだ友達役をかって出る子あり、長くなりそうないきで機転を利かせて話を進める子あり、昨日までとは違う会話を考える子あり、どの子も実に楽しそうにお話の世界を楽しんでいました。

◆◆◆◆ TO・MI・KARA ひろは ◆◆◆◆

♪ある日カラスがやってきて

魔女の手紙をくれました

勇気があるならやってこい

お菓子の家までやってこい♪

みんなで歌って

いよいよ劇のはじまりはじまり♪

となるはずが…

毎回

誰が手紙を持つかで もめていたカラスたち

子ども会当日に

その手紙が紛失するというおまけ付き

始まる直前になって「手紙がない！」

大勢のお客さんの前で

冷や汗タラリ（担任）

急ごしらえの手紙を持って

「カアカア、魔女さまからのお手紙だ、カア」

やっと劇が始まった



◀「魔女からの手紙だって！」「何て書いてあるの？」

手紙を読んだ。うみ組探検隊

双眼鏡を首にかけ、肩にはバッグ、手に手紙

お菓子の家目指して、いざ出発！

♪お菓子が好き、お菓子が好き

ほくらお菓子が大好きさ

朝から晩までお菓子を

ムシヤ、ムシヤ、ムシヤ、ムシヤ

食べたいな、食べたいな

お菓子が好き、お菓子が好き

ほくらお菓子が大好きさ♪

『お菓子の好きな海賊』の劇中歌が

探検隊のテーマソング

憧れのお菓子の家目指し

歌いながら歩く、歩く…

森の中で疲れ果てて眠っていると

夜の妖精がやってきた

金銀に輝く星のステッキを

探検隊の頭上に振りかざす

「私たちは夜の妖精よ。魔女に負けない勇気をあげるわ。さあ、ゆつくり眠りなさい」

朝元気に目覚めて歩いていくと

忍者の修業に出くわした

♪修行を邪魔する子どもたち

一人ずつぶってやれ、パン！

威勢のいい忍者たちが道をふさぐ

「やいやい子どもたち、こんな森の奥まで何しに来た」

忍者に魔女の手紙を見せて説明すると…

「これは魔女の罠だ。食べられてしまうぞ」

「でもほくたち、どうしてもお菓子の家に行つて、お菓子をいっぱい食べたいんだ！」

「それじゃあ、コマの修行をしていけ！」

お盆の上で、切り株の上で

次々にコマ回しの技を披露する忍者たち

# TO・NI・KARA いろは

「コマを回せるようにならないと、ここを通  
さないぞ。さあ、やってみろ！」

挑戦する「うみ組探検隊」

六人中四人がコマを回すことができ

「よし、通してやろう」

「これを持っていけ。きつと役に立つはずだ」  
忍者から秘伝のコマを渡された

さらに森の奥へと進む探検隊

やってきたのは ミニハムズの国

ボンポンを持つて踊るミニハムズたちは

お菓子の家に行くと言いつつびっくり

「魔女はすごく頭がいいのよ」

「魔女を倒せるかどうか試してあげるわ」

「信号機クイズに答えられたら通してあげる」

「行くわよ。白、白、黒！」

「赤、黄色、緑！」

と次々クイズを出してきた



◀ フィナーレ、みんなで 大合唱  
♪ 可愛い魔女をやった、カア、やった

ト・ミ・カ・ラ ひろば

「雲、雪、髪の毛」

「トマト、レモン…、ピーマン」

つつかえながら なんとかクリア

「カアカア。お菓子の家に着いたぞ」

やっとお菓子の家に着いて大喜びの探検隊

ムシヤムシヤお菓子を食べていると…

♪だれだ、だれだ、だ・れ・だー

ワシの家をかじるのは

さあさあ、名前を言ってみる♪

こわい魔女が顔を出す

「ハハハ、まんまとだまされたな」

カラスたちは

暖炉に火をくべ大きな鍋に湯を沸かす

♪魔女さま魔女さま お鍋の準備ができました

魔女さま魔女さま お湯が沸きました♪

(トルコ行進曲のメロディーで)

魔女が鍋の湯をかき混ぜていると…

そこへすかさず探検隊

コマを投げ入れブンブン回す

コマ見て魔女は目を回し

鍋の中にざつぶーんと落ちた。

こわい魔女をやっつけて

めでたし めでたし

まもなく幼児期に別れを告げる子どもたちの最後の輝きの一コマを共に作り上げていく。それは、年長組担任の喜びであり重みである。

一人ひとりの成長と子どもたち同士の育ち合いに助けられ励まされて今日があり、今日を充実して過ごす中に明日への力が生まれる。そのただ中にいられることは保育者の幸せである。

(中央区立月島第一幼稚園)